



大野市における感染症の影響と 地方創生の取り組み



大野市長 石山 志保



人口	31,324人
面積	872.43km ² (市域の約87%が森林)
高齢化率	36%
主な名所	名水百選 御清水 (おしょうず) 日本百名山 荒島岳 続日本100名城 越前大野城
ブランド・キャッチコピー	結の故郷 越前おおの

感染予防対策

感染予防対策に多くの人的・財政的な自治体資産を長い間投入する必要が生じた。

経済・社会活動維持のための対策

人の移動・行動の抑制及び誘導策として、新たな経済対策、社会維持のための施策を必要とした。

デジタル化・脱炭素化の対策

ニューノーマル（新たな常態）に適應させるデジタル化や脱炭素といった対策が急速に進みだした。



ワクチンの集団接種

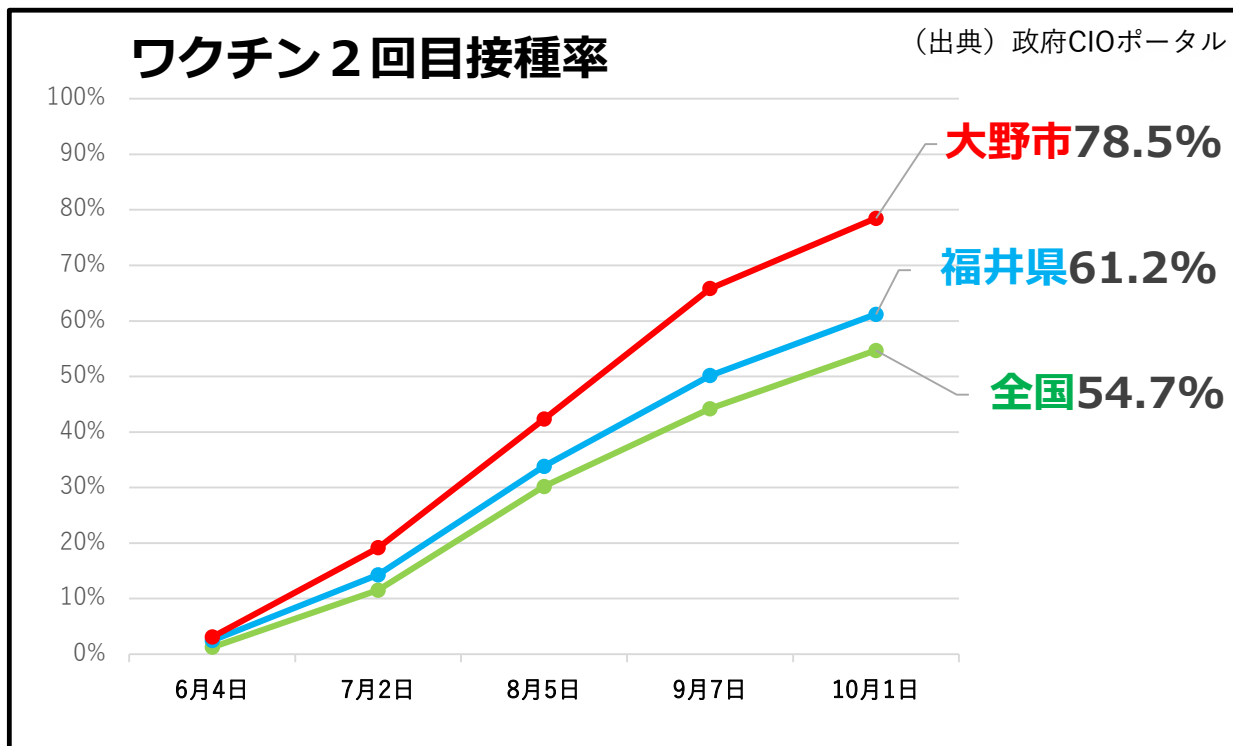


地域応援券の販売



学校へのタブレット端末の導入

- 福井県民行動指針に沿って、「おはなしはマスク」や「マスク会食」など感染症対策を市民に呼びかけ
- 県と県医師会との連携によりPCR検査やワクチン接種の体制が整えられ、これを土台に各市町が各種対策を実施
- 対象となる市民の**78.5%**が2回目のワクチンを接種完了（10月1日現在【10月2日集計】）希望者の10月末完了を目指す。



地域経済の消費喚起

●越前おおのプレミアムお買い物券

6,000円分のお買い物券を5,000円で販売（プレミアム率20%）

●子どもに笑顔を届けるテイクアウトチケット

高校生までの子どもがいる世帯に飲食店で利用できる5,000円分のテイクアウトチケット配布



人のつながり創出

●伝統踊りの動画配信

市内各所で撮影した伝統踊りの動画を配信。
保存団体に活動の機会を提供するとともに、踊りの魅力をPR

●リモートマラソンの開催

スマホアプリを用いて、参加者がそれぞれの場所でマラソン

●移住支援パッケージ

移住希望者が求める生活様式に合った移住支援策を揃えて情報発信



(参考) 成果指標の実績

大野市総合計画の成果指標の実績から見た感染症の影響

区分	成果指標	令和元年度	令和2年度	増減率
マイナス に転じたもの				
観光	観光入込客数	(年次) 199万人	(年次) 112万人	56.3%
	宿泊者数	(年次) 86,100人	(年次) 51,800人	60.2%
公共交通	大野市内バスの乗客数	24,674人	20,141人	81.6%
	広域路線バスの乗客数	205,329人	165,995人	80.8%
	越美北線の乗客数	336,307人	243,773人	72.5%
プラス に転じたもの				
移住定住	市の支援による移住受入れ世帯数	3世帯	13世帯	433.3%
	市への移住定住相談件数	67件	115件	171.6%
情報・デジタル	電子申請が可能な手続き数	33件	64件	193.9%
	市ホームページアクセス数	899,674件	1,065,804件	118.5%
	小中学校におけるICT機器活用率	小学校 87% 中学校 73%	小学校 91% 中学校 83%	小学校 104.6% 中学校 113.7%

第1期大野市総合戦略 における取り組み (H27年度～R2年度)

● 安定した雇用の創出

- ・大野市富田産業団地（約12ha）の整備
- ・働く人にやさしい企業への支援、定住して働く若者への支援、女性の起業への支援



● 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・応援券交付による子育て世帯への支援
- ・婚活イベントやセミナーによる結婚への支援



● 新しいひとの流れをつくる

- ・「天空の城 越前大野城」の積極的な売り込み
- ・「大野へかえろう事業」による若者の地元への愛着促進
- ・移住定住のための助成事業、移住体験プログラムの提供



● 時代に合った地域づくり

- ・特色ある地域づくり活動への支援
- ・「水への恩返し Carrying Water Project」
「水の聖地」を目指した市民や企業との協働



新たな課題や時代への対応

中部縦貫自動車道県内全線開通、北陸新幹線福井・敦賀開業など高速交通網の整備を見据えた取り組み

感染症 発生

▶ SDGs、デジタル化、ニューノーマルなど新時代への対応

第2期大野市総合戦略 における取り組み (R3年度～R7年度)

3つの重点プロジェクトを強かに推進 

稼ぐ力の向上

1. 高速交通アクションプログラムの推進

- 道の駅「越前おおの 荒島の郷」、
「日本一きれいな星空」、「産業ブランド力向上計画」を活かした稼ぐ力の向上



道の駅「越前おおの 荒島の郷」



R5年度までの星空保護区の認定を目指す



健康寿命延伸・医療費削減

2. 健康のまちづくり

- 歩くことから始める健康づくり
(県外3市町との連携による
地方創生推進交付金事業)



子育て支援の充実

3. 大野ですくすく子育て応援パッケージ

- 子どものライフステージに応じた
様々な支援策をパッケージ化
- 教育委員会に児童福祉行政を集約化



新たな施策パッケージ

● デジタル化



● 脱炭素



● 地域づくり



● 移住定住



● 高齢者の安心・生きがい



人口減少時代の人手不足をデジタル化で解決

主な取り組み

行政内部の業務を再構築

- 広大な面積を抱える大野市で、職員数と予算に限りのある中、質の高い市民サービスを提供し続けるため業務効率化を目指す
- 地域未来構想20オープンラボを通じてマッチングした民間企業の協力
- 新たな業務方法の導入とペーパーレス化を推進



その他

- 行政手続きのオンライン化
- 公共施設へのキャッシュレス決済機器の導入
- 市議会のペーパーレス化
- デジタル専門アドバイザーの活用
- マイナンバーカード申請者への買物券進呈 等

課題

● 過疎地域の情報通信基盤の整備

地方に居住する働き方・暮らし方により豊かな自然環境が再評価されるチャンス

過疎地域にこそデジタル技術が必要であり、情報通信基盤の整備が不可欠



● オンライン化した行政手続きの利用促進

● 利用に不安がある人への支援

● スマート農林業の推進

● 脱炭素化へのデジタル技術の活用 等

ゼロカーボンシティ宣言



宣言日 令和3年3月25日
全 国 342番目
県 内 4番目

<CO2削減目標> ※大まかな推計値



主な取り組み

木質バイオマスの利活用

- 木質バイオマス発電所への間伐材等の安定供給支援



木質バイオマス発電所

ごみ処理エネルギー等の有効利用

- ごみ処理施設で発生した熱を温浴施設のお湯の供給に利用



ごみ処理施設
廃熱 (熱利用)

温浴施設

脱炭素型エコライフの普及啓発

- 子どもたちが環境問題を楽しく学べるよう **Eco落語**、**Eco紙芝居**を実施
- 省エネ家電などCO2削減につながる商品を事業者を実施してもらう**結のエコ協賛店**を募集



Eco紙芝居

庁内の推進体制

- **脱炭素推進本部**を設置し、関連施策を総合的かつ一体的に推進
- **庁内プロジェクトチーム**では、事務事業で取り組めることを検討

課 題

- 再生可能エネルギーの普及
- 再生可能エネルギー導入を担う人材・事業者の育成
- 耕作放棄地等の活用
- 豊富な森林資源の活用
- 雇用の創出 (企業誘致・産業創出)
- 老朽化した公共施設等の更新 等

長期的なビジョンとして**脱炭素ビジョン**を策定

- 温室効果ガス排出量の推計
- 将来ビジョンの作成
- 再エネ導入目標の設定
- 市民・事業者を含めた推進体制

複数課題を同時解決する取り組みを展開

SDGSの理念

<p>生分解性マルチの利用促進</p>  <p>里芋を栽培する農業者に生分解性マルチの購入費用を一部補助</p>	<p>プラスチックごみの削減</p> <p>C02</p>	<p>同時解決!</p> <p>×</p>	<p>農作業の省力化</p>
<p>星空を楽しむライトダウンイベント</p>  <p>市民や事業者に消灯の協力と星空観賞への参加を呼び掛け</p>	<p>電力消費の削減</p> <p>C02</p>	<p>同時解決!</p> <p>×</p>	<p>星空の魅力発信</p>
<p>フードドライブの実施</p>  <p>家庭や職場で余っている食品を集めて、福祉施設などに寄付</p>	<p>食品ロスの削減</p> <p>C02</p>	<p>同時解決!</p> <p>×</p>	<p>生活困窮者等への食糧支援</p>
<p>JR越美北線乗車記念「御乗印」</p>  <p>越美北線の利用者に御朱印型記念証「御乗印」を配布</p>	<p>自動車の排気ガスの削減</p> <p>C02</p>	<p>同時解決!</p> <p>×</p>	<p>越美北線の利用促進</p>

地域課題の解決と施策の全体最適化の相乗効果

- 人口減少・高齢化による自治会活動の**担い手不足**
- 感染症による影響（希薄化、孤立化、伝統文化の衰退 等）

- ・ 課題意識の共有
- ・ 地域活動の効率化
- ・ 地域で住民を見守る体制

地域住民の
話し合いを
市が支援



**市内9つの公民館を中心に
住民主体の地域課題の解決が
持続的に行われる体制を作る**

地域福祉

防災防犯

空き家管理
利活用

伝統文化
の継承

等

故郷の結

越前おおの

課題解決!!



古くから村の生活で営まれてきた「助け合い、支え合い心」を大切に

<これまで>

大野市総合戦略に基づいた人口減少対策の取り組み

雇用の創出

結婚・出産
子育て

新しい
人の流れ

地域づくり

感染症 発生

行動制約

新たな
働き方

観光需要減少

地方への関心
の高まり

<新たに必要となった対策>

- 感染症予防対策
- 経済・社会活動維持のための対策
- デジタル化・脱炭素化の対策

地域の課題がより複合的に

<これから>

これまでの取り組みに加えて、デジタル化・脱炭素化の視点、さらには、人口が減少した地域でも「助け合い、支え合いの心」を大切にして大野市に住み続けていくための取り組み